

新年度を迎えて

うららかな春の日差しが心地よい季節となりました。広野小学校の周りには今年もきれいな桜の花が咲き誇っています。本日始業式を行い、また明後日10日の入学式では30名の新入生を迎え、合わせて272名で令和7年度のスタートです。

**新しい年度を迎え、お子さまのご入学、
ご進級おめでとうございます。**

私こと、この度の人事異動により、藤川 桂校長先生の後任として、三木市立緑が丘小学校から転任してまいりました北村 嘉和です。以前は教諭として広野小学校に勤めておりました。14年を経て、再びお世話になることになりました。美しい桜並木、30周年時に設置したわんぱく広場の遊具など懐かしく思い出し、勤務できることをうれしく感じていると同時に、その重責を感じております。気持ちを新たに、広野小学校、広野っ子たちのために精一杯努力してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



さて、昨日新6年生は一足早く登校し、新学期の準備をしました。式場準備、教室の飾りつけ、昇降口・廊下・トイレ等の掃除や、机の移動、教科書の準備等、きびきびとそして大変丁寧に作業を進めました。最高学年としての自覚をもって活動している姿からやる気を感じられました。今年度の6年生の活躍が楽しみだと感じた一日でした。6年生のリーダーシップに大いに期待しています。

そして、本日の始業式では、担任発表を聞く子どもたちはわくわくした面持ちで集中して聞き入る姿に期待感を感じました。始業式の後、各学年が「さあ、今年1年がんばるぞ」と先生方が工夫された学年開きを行い、クラス発表で一人一人名前を呼ばれてクラス分けが行われました。名前が呼ばれるたびに歓声上がり、笑顔が広がっていました。その後、進級した教室での学級開きが行われました。学年、学級の新たな1年間のスタートです。1年後の大きな成長を期待しています。

子どもたちがこれから生きていく未来は、将来の変化を予測することが困難な時代と言われます。その未来を生き抜くためには、子どもたちが社会の変化に主体的に向き合い、他者と協働しながら新たな価値を生み出していく力を付けることが必要です。そのためにも、今年度も教職員が一丸となり、子どもたちを温かな眼差しでしっかりと見つめ、一人一人に寄り添いながら、学校教育目標「こころ豊かに逞しく生きる広野っ子の育成」を目指して、「子どもたち一人一人が活かされ幸せを感じられる、笑顔があふれる学校」づくりに取り組んでまいります。

保護者の皆さまや地域の皆さまにはお世話になることが多々あると思います。ご理解とご支援を、心よりお願ひ申し上げます。

広野小学校 校長 北村 嘉和